

**令和4年度教育に関する事務の管理
及び執行の状況の点検及び評価報告書
(令和3年度対象事業)**

吉野川市教育委員会

もくじ

1. 点検・評価について	1-2
2. 事業の評価	3
(1) 評価方法	3
(2) 評価基準	3
(3) 総合評価	3
(4) 今後の方向性	3
3. 教育委員会の運営状況	4
(1) 令和3年度教育委員	4
(2) 教育委員会会議の開催状況について	4
(3) 教育委員会の定例会、臨時会開催日	5
(4) 教育委員会会議以外の活動	5-7
4. 吉野川市教育委員会評価結果一覧表	8
5. 事務事業評価シート(令和3年度実施事業)	9-23

1. 点検・評価について

吉野川市教育委員会では、平成30年度「第2期吉野川市教育振興計画」を策定し、「学校・家庭・地域の相互理解と協力・連携の中、子どもたち一人一人に思いやりの心を育み、21世紀を生き抜く力の基礎を自ら培う学校教育の推進」「地域資源を生かしながら、市民一人一人の豊かな人生をつくり、市の発展につながる生涯学習文化の創造」を教育理念(基本理念)とし、5つの教育目標を基礎とし、施策を推進しております。

本報告書は、教育委員会の権限に属する事務のうち、特に重点的施策とする事業を主要な対象とし、管理及び執行の状況について「点検・評価」した内容をまとめました。

なお、新型コロナウイルス感染症対応等のため、実施できていない事業は「評価なし」と表記しております。

1. 推進プログラムの体系

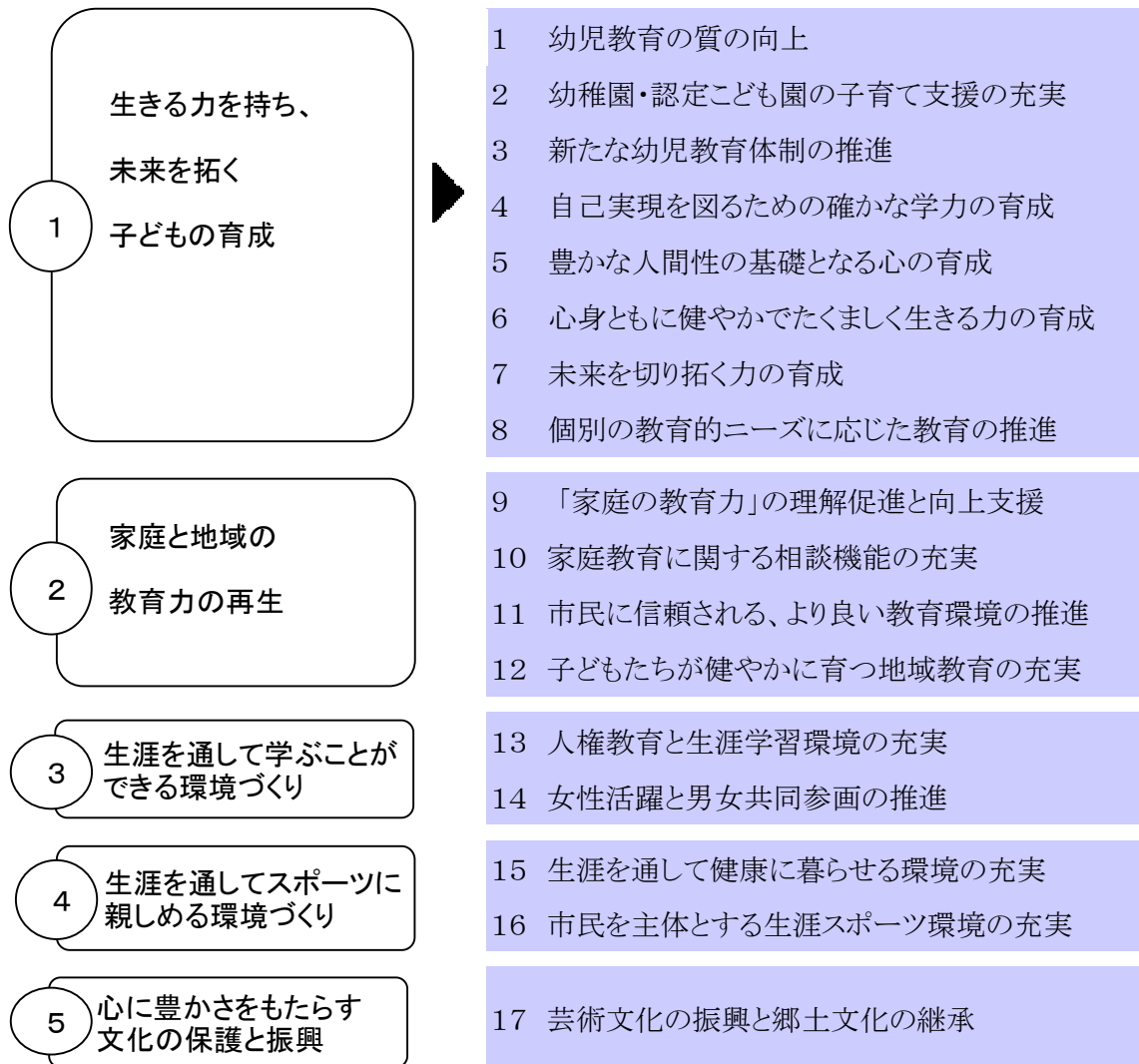
本計画の基本理念と5つの教育目標のもと、以下の体系で具体的な施策を推進します。

教育理念

- 学校・家庭・地域の相互理解と協力・連携の中、子どもたち一人一人に思いやりの心を育み、21世紀を生き抜く力の基礎を自ら培う学校教育の推進
- 地域資源を生かしながら、市民一人一人の豊かな人生をつくり、市の発展につながる生涯学習文化の創造

▼教育目標

▼推進プログラム



2. 事業の評価

(1) 評価方法

点検・評価方法として、教育委員会の権限に属する事務のうち、特に重点的施策とする主要な事業を対象とし、PDCAサイクルを活用した方法で評価します。

(2) 評価基準

① 必要性

現在の市民のニーズや社会情勢等に照らして、事業の必要性があるかどうか、状況の変化に対応しているかどうかを評価します。

② 有効性

施策や運営方針、教育委員会で策定した「第2期吉野川市教育振興計画」の目標の実現にどの程度寄与しているかを評価します。

③ 効率性

事業コストがかかりすぎていないか、最少の経費で最大の効果を発揮しているか、無駄がないかなど、経済性の面から評価します。また、事務作業に無駄がないか、更なる効率性が図れないかを評価します。

④ 目標達成度

目標の達成状況の評価します。併せて、目標の設定水準が適切かどうかも検討します。

(3) 総合評価

事業の各評価基準を勘案し、総合的に評価を行います。

総合評価のランク

A	予定どおり順調に事務執行し、具体的な成果が表れている。
B	概ね順調に事務執行し、成果が表れている。
C	目標とした成果が予定を下回っている。

(4) 今後の方向性

総合評価を勘案し、今後の方針を決定します。

また、事業の実施結果を踏まえ、今後の課題とその改善案を策定します。

3. 教育委員会の運営状況

(1) 令和3年度教育委員

(令和3年4月1日現在)

職名	氏名	任期
教育長	栗洲 敬司	R2. 4. 1 - R5. 3.31
教育長職務代理者 (任期R3.4.1-R4.3.31)	鹿児島 康江	H30.12.26 - R4.12.25
委員	川村 徳子	R1.11.26 - R5.11.25
委員	栗原 奈麻美	H29.12.24 - R3.12.23
委員	熊代 雄一郎	R2.11.28 - R6.11.27
委員	貞野 雅己	R2.12.22 - R6.12.21

(令和4年4月1日現在)

職名	氏名	任期
教育長	栗洲 敬司	R2. 4. 1 - R5. 3.31
教育長職務代理者 (任期R3.4.1-R4.3.31)	鹿児島 康江	H30.12.26 - R4.12.25
委員	川村 徳子	R1.11.26 - R5.11.25
委員	栗原 奈麻美	R3.12.24 - R7.12.23
委員	熊代 雄一郎	R2.11.28 - R6.11.27
委員	貞野 雅己	R2.12.22 - R6.12.21

(2) 教育委員会会議の開催状況について

教育委員会の会議は、毎月1回開催される定例会のほか、必要に応じて開催される臨時会があり、教育委員会の議決案件について審議を行うとともに、重要事項について教育委員会事務局から報告等を受けています。

令和3年度 開催回数

教育委員会定例会議	12回
教育委員会臨時会議	1回

(3)教育委員会の定例会、臨時会開催日

4月定例会	令和 3年 4月27日
5月定例会	令和 3年 5月27日
6月定例会	令和 3年 6月30日
7月定例会	令和 3年 7月28日
8月定例会	令和 3年 8月24日
9月定例会	令和 3年 9月28日
10月定例会	令和 3年10月26日
11月定例会	令和 3年11月24日
12月定例会	令和 3年12月21日
1月定例会	令和 4年 1月26日
2月定例会	令和 4年 2月22日
臨時会	令和 4年 3月 9日
3月定例会	令和 4年 3月23日

(4)教育委員会会議以外の活動

【学校訪問】

年 月 日	学 校 名
令和 3年10月14日	学島小学校
令和 3年10月15日	鴨島東中学校
令和 3年10月18日	鴨島第一中学校
令和 3年10月19日	山瀬小学校 高越小学校
令和 3年10月21日	川島小学校 山川中学校
令和 3年11月 5日	西麻植小学校
令和 3年11月 8日	森山小学校 知恵島小学校
令和 3年11月 9日	市立川島中学校
令和 3年11月10日	牛島小学校
令和 3年11月12日	鴨島小学校
令和 3年11月15日	飯尾敷地小学校

○新型コロナウイルス感染症対策下の学校訪問について

例年、教育委員会は、前期(5月～6月)後期(10月～11月)に分け、小中学校及びこども園の学校訪問を実施していました。

しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、コロナ禍以前の教育長、教育委員及び事務局での訪問を止め、各校を教育長のみが訪問することとしました。また、同様の理由により、こども園への訪問については、昨年度同様に中止しました。

教育長が各校を訪問し、各校の教育目標に対する取組状況や一人一台端末を活用しての授業を視察し、その内容・状況を定例教育委員会において、教育委員に説明しました。

【入学式】

年 月 日	学 校 名
令和 3年 4月 9日	市立中学校、市立小学校

○令和3年度入学式においては、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、教育委員会出席者は、式典時間の短縮を図るため、要約を述べ、式辞全文については保護者への配付又は会場において掲示を行いました。

【卒業式】

年 月 日	学 校 名
令和 4年 3月11日	市立中学校(4校)
令和 4年 3月17日	市立小学校(11校)

○令和3年度卒業式においては、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、教育委員会出席者は各校1名とし、祝辞は読み上げず、祝文を印刷して保護者に配付しました。

【総合教育会議】

年 月 日	内 容
令和 4年 1月26日	<p>議題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アフターコロナ時代における教育施策について コロナ禍の検証とその後の対応について 2. 令和4年度全国高等学校総合体育大会開催に係る本市の対応について <p>【出席者】 市長・副市長・政策監・健康福祉部次長・商工観光課長 教育長・副教育長・教育総務課長・学校教育課長・生涯学習課長 教育委員5名</p>

【教育表彰】

年 月 日	内 容	場 所
令和 3年12月18日	<p>令和3年度教育表彰式 優れた成績をおさめた児童・生徒及び学校教育、社会教育等に顕著な功績をあげた者に対し、表彰を行う。</p> <p>【表彰件数】 個人 7件 団体 2件</p>	吉野川市役所

【その他主な行事・研修会等への委員の出席状況】

年 月 日	内 容	場 所
令和 3年 4月 5日	令和3年度徳島県・市町村教育委員会教育行政連絡協議会	徳島県立総合教育センター
令和 3年11月 4日	令和3年度徳島県・市町村教育委員会教育委員等研修会	オンライン
令和 4年 1月 3日	吉野川市成人式	吉野川市民プラザ

○令和4年1月3日の成人式は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け開催できていなかった令和3年成人式を午前、令和4年成人式を午後、無観客にて開催しました。式典に参加できない対象者や家族の方を対象にYouTube配信を行い、100名の方にご視聴いただきました。

また、事前申し込みやPCR検査の受検、陰性者へのバーコード付き案内メールによる入場確認等、新型コロナウイルス対策を実施した上での開催となりましたが、滞りなく式典を終えることができました。

4. 吉野川市教育委員会評価結果一覧表

No.	事務事業名	担当課	評価
1	学校施設維持管理事業	教育総務課	B
2	山瀬小学校体育館改築工事	同	A
3	公共空間安全安心確保事業	同	A
4	学校再編事業(鴨島東部地区)	同	C
5	市立中学校「英語検定」検定料補助事業	学校教育課	A
6	特別支援教育支援員配置事業	同	B
7	帰国・外国人児童・生徒“いきいき”モデル事業	同	A
8	スクールカウンセラー配置事業	同	A
9	適応指導教室の充実	同	A
10	英語教育振興補助事業	同	B
11	スクールバス運行業務	同	A
12	奨学金貸与事業	同	B
13	ICT環境整備事業	同	A
14	デジタル教科書更新事業	同	A
15	中学校夜間学級就学援助支給事業	同	A
16	青少年育成補導センター業務	生涯学習課	B
17	人権教育推進事業	同	A
18	成人式開催事業	同	A
19	公民館活動推進事業	同	B
20	文化施設管理事業	同	B
21	文化財保護管理事業	同	A
22	文化芸術振興事業	同	A
23	全国大会参加者派遣補助事業	同	A
24	徳島駅伝吉野川市選手団運営委員会	同	B
25	スポーツ団体活動支援・人材育成事業	同	B
26	体育施設の管理・運営事業	同	B
27	吉野川市民プラザ等指定管理業務	同	B
28	インターハイ開催事業	同	A
29	学校給食センター事業	学校給食センター	A
30	美郷一周駅伝事業	生涯学習課	評価なし
31	吉野川市リバーサイドハーフマラソン事業	同	評価なし

自己点検評価シート(令和3年度実施事業)

① 基本情報

事業番号	事務事業名		学校施設維持管理事業	事業種別	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
1	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	2 家庭と地域の教育力の再生	担当課(係)	教育総務課(総務係)
		推進プログラム	11 市民に信頼される、より良い教育環境の推進		

② 事業概要 (PLAN: 計画設計)

事業の目的・内容	吉野川市内の小学校・中学校の児童生徒・関係者を対象に、学校施設を安全で快適に過ごせるよう、教育環境の整備を図る。
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	学校施設の長寿命化計画を考慮した上で、計画していた改修と年度途中に生じた緊急性の高い改修のバランスをとりつつ、学校施設の維持管理を行う。

③ 実施結果 (DO: 推進)

	名称	単位	R3実績
事業実績・成果(指標)	施設維持管理修繕実施	校	15
事業費	11,948 千円(R3決算)		
事業の実施内容	学校訪問時又は学校からの適宜報告等により、各学校の改修必要箇所等の集約、現場確認を行った上で、予算計上を行い、計画的な改修に努めた。また、年度途中で発生した不具合等には、当初の計画を鑑みつつ、優先順位をつけ、改修等を行った。		

④ 事業の評価 (CHECK: 点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	B	評価理由等	計画的な改修に努め、年度途中の緊急性の高い修繕等にも柔軟に対応したものの、予算不足等の理由から各学校からの改修要望箇所を全て対応することはできなかった。
-----------------------	---	-------	--

⑤ 今後の方向性 (ACTION: 改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
見直し/改善	限られた予算の範囲内で各学校からの改修要望箇所を全て対応することは困難であるため、計画的な改修と併せて、重要度や緊急性の高いものを判断し維持管理を行うことで、安全で快適な学校施設の整備に努める。	令和4年度

① 基本情報

事業番号	事務事業名		山瀬小学校体育館改築工事	事業種別	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
2	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	2 家庭と地域の教育力の再生	担当課(係)	教育総務課(総務係)
		推進プログラム	11 市民に信頼される、より良い教育環境の推進		

② 事業概要 (PLAN: 計画設計)

事業の目的・内容	建築から50年が経過し、劣化が著しい状況であるため、改築を行い、山瀬小学校児童の安定した学校生活を確保するとともに、市西部の防災拠点として、地域住民の安心・安全の確保を図る。
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	工法等の見直しが生じ、工事の進捗に遅れが生じているため、令和3年度内の竣工に努め、事業完了まで、受注者及び関連部署と連携し、児童の安全確保を最優先し、事業を着実に進める。

③ 実施結果 (DO: 推進)

	名称	単位	R3実績
事業実績・成果(指標)	山瀬小学校体育館改築工事	進捗率(%)	100
	山瀬小学校屋内運動場解体工事	進捗率(%)	100
事業費	431,175 千円(R3決算)		
事業の実施内容	関連部署と連携し、円滑な工事に努め、令和3年12月6日に竣工し、同月13日から使用を開始した。解体工事については、令和4年2月28日に竣工した。		

④ 事業の評価 (CHECK: 点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	A	評価理由等	児童の安定した学校生活を確保するとともに、空調設備を導入することにより、市西部の防災拠点として、地域住民の安心・安全を確保することができた。
-----------------------	---	-------	--

⑤ 今後の方向性 (ACTION: 改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
完了	大規模な施設については、多額の維持管理経費を要することから、計画的な維持管理を行い、経費の圧縮を図っていく。	随時

自己点検評価シート(令和3年度実施事業)

① 基本情報

事業番号	事務事業名		公共空間安全安心確保事業	事業種別	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
3	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	2 家庭と地域の教育力の再生	担当課(係)	教育総務課(総務係)
		推進プログラム	11 市民に信頼される、より良い教育環境の推進		

② 事業概要 (PLAN: 計画設計)

事業の目的・内容	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを軽減するとともに、児童生徒に対する教育環境の向上を図る。
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	令和2年度からの繰越事業であるため、事業の進捗管理を徹底するとともに、児童生徒、教職員及び学校利用者の安全確保を第一に事業を進める。

③ 実施結果 (DO: 推進)

	名称	単位	R3実績
事業実績・成果(指標)	市立小中学校空調設備整備工事	進捗率(%)	100
	市立小中学校自動水栓整備改修工事	進捗率(%)	100
事業費	136,254 千円(R3決算)		
事業の実施内容	教室等に全熱交換器を設置し、換気を確保しつつ、冷暖房負荷の低減を図るとともに、市立小中学校のトイレ及び教室前の手洗い場等の水栓を自動水栓に交換することにより、非接触化を図り、感染症感染リスクの軽減を図る。		

④ 事業の評価 (CHECK: 点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	A	評価理由等	全熱交換器や自動水栓の設置により、効率的な換気や非接触化を図り、新型コロナウイルス感染症感染リスクを軽減することができた。
-----------------------	---	-------	---

⑤ 今後の方向性 (ACTION: 改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
完了	修繕等に係る経費を圧縮するための定期的なメンテナンスの実施や、更新の際には国からの交付金を活用するなど、経費負担を圧縮する取組が必要である。	随時

① 基本情報

事業番号	事務事業名		学校再編事業(鴨島東部地区)	事業種別	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
4	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	2 家庭と地域の教育力の再生	担当課(係)	学校再編準備室(政策調整係)
		推進プログラム	11 市民に信頼される、より良い教育環境の推進		

② 事業概要 (PLAN: 計画設計)

事業の目的・内容	鴨島東部地区における学校の適正規模・適正配置に配慮しつつ、本市の将来を担う子どもたちにより良い教育環境を整えることを目的として、中・長期的な展望に立ち、小規模化している市立小・中学校を再編する。
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	新規入学者が0人という状況が続いている上浦小学校について、今後の方針を協議・決定するとともに、子どもたちのより良い教育環境の整備だけではなく、学校施設維持管理経費縮減の観点からも、本事業を進めていく。

③ 実施結果 (DO: 推進)

	名称	単位	R3実績
事業実績・成果(指標)	鴨島東部地区の小中学校の再編		未再編
	上浦小学校に係る今後の方針の協議・決定		令和4年度を以て休校
事業費	0 千円(R3決算)		
事業の実施内容	上浦地区の児童の健全な教育環境整備を第一に考え、令和4年度を以て上浦小学校を休校とし、保護者、地域住民に対する説明会を令和4年2月に開催できるよう準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症の感染状況悪化により、説明会開催を延期することとなった。		

④ 事業の評価 (CHECK: 点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	C	評価理由等	令和4年度を以て、上浦小学校を休校とするものの、依然として鴨島東部地区の学校再編は進んでいない状況である。
-----------------------	---	-------	---

⑤ 今後の方向性 (ACTION: 改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
見直し/改善	学校再編計画(素案)は、令和5年度に見直しの時期を迎える。児童生徒数の推移や保護者の要望等を踏まえ、当該計画の内容の見直しを進めていく。	令和4年度 ～令和5年度

自己点検評価シート(令和3年度実施事業)

① 基本情報

事業番号	事務事業名	市立中学校「英語検定」検定料補助事業	事業種別	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
5	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	1 生きる力を持ち、未来を拓く子どもの育成	担当課(係)	学校教育課(学校教育係)
		推進プログラム	7 未来を切り拓く力の育成		

② 事業概要 (PLAN: 計画設計)

事業の目的・内容	吉野川市立中学校で行う「英検」を受検する中学生の保護者に対し、検定料の一部を補助し、受検者数を増加させるとともに、英語学習への取り組む意欲を高める。 補助額 4級:1,900円 3級:2,900円 準2級:3,600円 2級:3,600円
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	CEFR A1レベル相当(英検3級程度)以上の英語力を持つ中学3年生の割合について、令和6年度までに55%以上を目指す。

③ 実施結果 (DO: 推進)

	名称	単位	R3実績
事業実績・成果(指標)	CEFR A1レベル相当(英検3級程度)以上の英語力を持つ中学3年生の割合	%	53
事業費	507 千円(R3決算)		
事業の実施内容	公費受検者数(補助金交付者数)及び合格者数 2級:受検者3名(合格者2名) 準2級:受検者18名(合格者7名) 3級:受検者93名(合格者72名) 4級:受検者85名(合格者73名)		

④ 事業の評価 (CHECK: 点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	A	評価理由等	本事業は本市総合戦略における具体的事業であり、令和6年度までに掲げた指標に着実に近付いているため。
-----------------------	---	-------	---

⑤ 今後の方向性 (ACTION: 改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
拡大	各校に配置したALT等を活用し、英語の技能向上に努めるとともに、令和6年度のCEFR A1レベル相当(英検3級程度)以上の英語力を持つ中学3年生の割合について、55%以上を目指す。	令和4年度

① 基本情報

事業番号	事務事業名	特別支援教育支援員配置事業	事業種別	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
6	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	1 生きる力を持ち、未来を拓く子どもの育成	担当課(係)	学校教育課(学校教育係)
		推進プログラム	8 個別の教育的ニーズに応じた教育の推進		

② 事業概要 (PLAN: 計画設計)

事業の目的・内容	市内の市立小・中学校に特別支援教育支援員を配置し、学校生活や学習の面で特別な支援を必要とする児童生徒に対し食事・排泄・教室移動の際の補助等日常生活動作の介助や、学習活動上のサポートなどを行う。
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	業務に必要な知識技能等について研修を行う。

③ 実施結果 (DO: 推進)

	名称	単位	R3実績
事業実績・成果(指標)	特別支援教育支援員配置人数	人	16
事業費	29,183 千円(R3決算)		
事業の実施内容	16名を雇用し、日常生活・学習面で特別な支援を必要とする児童・生徒の支援を行った。また、新規雇用の支援員に対しては、業務に必要な知識や心構え等についての研修も実施した。		

④ 事業の評価 (CHECK: 点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	B	評価理由等	特別な支援が必要な児童・生徒は増加しており、必要性はますます高まっている。15の市立小中学校に各1名(児童生徒数の多い鴨島小・鴨島一中は各2名)を配置することを計画していたが、人材の確保が難しく、鴨島一中には1名の配置となった。
-----------------------	---	-------	--

⑤ 今後の方向性 (ACTION: 改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
見直し/改善	職務内容から、適切な人材の確保が課題であるため、業務に必要な知識技能等について研修を行うとともに、人材の確保に努め、希望する学校への確実な配置を目指す。	令和4年度

自己点検評価シート(令和3年度実施事業)

① 基本情報

事業番号	事務事業名	帰国・外国人児童・生徒“いきいき”モデル事業	事業種別	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
7	第2次吉野川市教育振興計画	教育目標	1 生きる力を持ち、未来を拓く子どもの育成	担当課(係)	学校教育課(学校教育係)
		推進プログラム	8 個別の教育的ニーズに応じた教育の推進		

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	各小・中学校に転入してきた帰国・外国人児童生徒に日本語指導が必要な場合、各学校からの要請により、民間の日本語講師を学校に派遣する。
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	各小・中学校へ日本語指導が必要な児童生徒について把握し、引き続き学習支援を行う。

③ 実施結果(DO:推進)

	名称	単位	R3実績
事業実績・成果(指標)	日本語指導が必要な帰国・外国人児童生徒への支援の割合	%	100
事業費	160 千円(R3決算)		
事業の実施内容	各小・中学校へ日本語指導が必要な児童生徒が在籍しているか調査。その後、日本語指導が必要な児童2名に対して日本語講師を派遣し、一人あたり約30回の支援を行った。		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価(A:高、B:中、C:低)	A	評価理由等	日本語指導を希望する外国人児童に対して、講師を派遣し、日本語学習の支援が十分にできているため。
-------------------	---	-------	---

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
現状維持	今後、就学・転入等により新規対象者が増える可能性もある。また、対象者の学年が上がるとともに必要な日本語レベルも上がるため、毎年継続して実施する必要がある。	令和4年度

① 基本情報

事業番号	事務事業名	スクールカウンセラー配置事業	事業種別	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
8	第2次吉野川市教育振興計画	教育目標	1 生きる力を持ち、未来を拓く子どもの育成	担当課(係)	学校教育課(学校教育係)
		推進プログラム	5 豊かな人間性の基礎となる心の育成		

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	不登校やいじめ問題等への対応のため、小学校にスクールカウンセラー(臨床心理士)を2名配置し学校に訪問することで、児童へのカウンセリング及び保護者や教員への助言支援など、個の実情に応じた教育相談や支援体制の強化・充実を図る。
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	不登校やいじめ問題の他、友人関係や新型コロナに伴う不安感など、児童の多岐にわたる心のケアを相談や助言支援を通じて対応する。

③ 実施結果(DO:推進)

	名称	単位	R3実績
事業実績・成果(指標)	吉野川市スクールカウンセラー(小学校)	人	2
	年間相談件数	件	1,423
事業費	4,121 千円(R3決算)		
事業の実施内容	スクールカウンセラーが、各々の実情に応じた児童の心のケアや悩み相談など、個の状況に応じた教育相談を行った。		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価(A:高、B:中、C:低)	A	評価理由等	児童や児童を取り巻く状況への精神的なケアや対処は非常に重要であり、それに十分対応しているため。
-------------------	---	-------	---

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
現状維持	児童へのカウンセリングや保護者及び教職員への相談だけではなく、社会情勢や対人関係による児童の心のケアに対応する人員の確保について、財政課と協議を行いながら対応していく。	令和4年度

自己点検評価シート(令和3年度実施事業)

① 基本情報

事業番号	事務事業名		適応指導教室の充実	事業種別	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
9	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	1 生きる力を持ち、未来を拓く子どもの育成	担当課(係)	学校教育課(学校教育係)
		推進プログラム	7 豊かな人間性の基礎となる心の育成		

② 事業概要 (PLAN: 計画設計)

事業の目的・内容	様々な理由で登校困難となった児童生徒が一時的に適応指導教室「つつじ学級」に通うことで、悩みの解決と学習相談や教育活動を行うとともに、教育相談室「いきいき吉野川っ子」において悩みや不安の解消のため児童生徒・保護者並びに教職員の相談支援を行い、関係機関との連絡調整を行う。
前年度課題を踏まえた目標 (新規除く)	様々な理由から増加している不登校の児童生徒を、各校の対応職員や関係機関と連携し、適応指導教室につなげ、在籍児童生徒の進学・学校復帰を支援する。

③ 実施結果 (DO: 推進)

	名称	単位	R3実績
事業実績・成果 (指標)	通室児童生徒数	人	13
	相談件数(来室相談・電話相談・学校訪問)	件	53
	体験通室	件	11
事業費	4,767 千円(R3決算)		
事業の実施内容	通室児童生徒に対し、相談員及び指導員が個々に教育相談や基本的な生活習慣の指導及び学習指導等を行うことにより、進学支援や学校への復帰及び復帰後のフォローアップを行った。さらに月1回程度カウンセラーの相談日を設けており、より専門的な相談対応を行った。		

④ 事業の評価 (CHECK: 点検・評価)

総合評価 (A: 高、B: 中、C: 低)	A	評価理由等	体験通室にやってきた登校困難となった児童生徒11人中7人がつつじ学級へと入級し、2人が継続して通室しており2人が学校へ復帰するなど状況改善につながっている。
--------------------------	---	-------	--

⑤ 今後の方向性 (ACTION: 改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
拡大	不登校の児童生徒は増加しており、学校復帰・社会とのつながり確保のために適応指導教室の役割は大きい。関係機関へ周知・啓発を積極的に行い、不登校児童・生徒を適応指導教室につないでいく。また、「いきいき吉野川っ子」についても広報し、不登校を未然に防ぐ取り組みを行う。	令和4年度

① 基本情報

事業番号	事務事業名		英語教育振興補助事業	事業種別	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
10	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	1 生きる力を持ち、未来を拓く子どもの育成	担当課(係)	学校教育課(学校教育係)
		推進プログラム	7 未来を切り拓く力の育成		

② 事業概要 (PLAN: 計画設計)

事業の目的・内容	市立小中学校児童生徒の国際理解の深化を図るため、吉野川市小中連携英語教育研究会が実施する英会話等の体験活動に要する経費に対し、補助する。
前年度課題を踏まえた目標 (新規除く)	補助事業内容について適正な審査する。

③ 実施結果 (DO: 推進)

	名称	単位	R3実績
事業実績・成果 (指標)	イングリッシュキャンプに参加し、英語への興味・関心を深めた児童の人数	人	15
	※参考 中学生の参加予定者は17人(中止)		
事業費	200 千円(R3決算)		
事業の実施内容	小中連携英語教育研究会で企画した小学生5・6年生対象、中学生対象のイングリッシュキャンプ経費に対し、それぞれ補助を行った。(中学校については当日台風の為、中止となった。)		

④ 事業の評価 (CHECK: 点検・評価)

総合評価 (A: 高、B: 中、C: 低)	B	評価理由等	概ね順調に執行した。
--------------------------	---	-------	------------

⑤ 今後の方向性 (ACTION: 改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
見直し/改善	イングリッシュキャンプの実施のみにとどまらず、職員の研修や教材の活用等を含めた補助事業内容について、引き続き適正に審査する。	令和4年度

自己点検評価シート(令和3年度実施事業)

① 基本情報

事業番号	事務事業名		スクールバス運行業務	事業種別	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
11	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	1 生きる力を持ち、未来を拓く子どもの育成	担当課(係)	学校教育課(学校教育係)
		推進プログラム	4 自己実現を図るための確かな学力の育成		

② 事業概要 (PLAN: 計画設計)

事業の目的・内容	①高越小学校に通学する、美郷区域内の児童及び山川区域内の一部児童 ②山川中学校に通学する、美郷区域内の生徒 上記対象者について、遠隔地からの通学に係る移動手段の確保(安全な登下校の確保)
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	市が所有する6台のスクールバスを運行し、対象となる児童生徒の遠隔地からの通学について、登下校時の移動手段の確保を図る。

③ 実施結果 (DO: 推進)

	名称	単位	R3実績
事業実績・成果(指標)	高越小学校利用者数	人	94
	山川中学校利用者数	人	12
事業費	11,561 千円(R3決算)		
事業の実施内容	スクールバス6台の運行に係る業務委託、整備管理を実施。		

④ 事業の評価 (CHECK: 点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	A	評価理由等	関係者間(市教委、運行業者、学校、利用児童生徒の保護者)の連携、情報の共有に努め、安全な登下校の運行を実施した。
-----------------------	---	-------	--

⑤ 今後の方向性 (ACTION: 改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
現状維持	運行業務については令和3年7月～令和6年6月までの長期継続契約による事業実施。	随時

① 基本情報

事業番号	事務事業名		奨学金貸与事業	事業種別	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
12	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	1 生きる力を持ち、未来を拓く子どもの育成	担当課(係)	学校教育課(学校教育係)
		推進プログラム	8 個別の教育的ニーズに応じた教育の推進		

② 事業概要 (PLAN: 計画設計)

事業の目的・内容	吉野川市奨学生として認定された者に対し、奨学金を貸与することで修学の機会を確保し、次代を担う豊かな人材を育成する。
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	経済的理由により修学が困難な者に対し、大学進学のための奨学金を継続する。市の奨学金以外にも県や日本学生支援機構などの奨学金の周知を行い、修学の機会を確保する。

③ 実施結果 (DO: 推進)

	名称	単位	R3実績
事業実績・成果(指標)	R3年度貸与人数	人	7
	(内訳:国公立大1名、私立大3名、高校生3名)		
事業費	2,484 千円(R3決算)		
事業の実施内容	市発行の広報誌・ホームページなどを活用し、制度の活用(貸与申請など)に関して周知等を行った。		

④ 事業の評価 (CHECK: 点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	B	評価理由等	市立中学校に対し、市の奨学金以外にも、県や日本学生機構(JASSO)等の奨学金の周知を行った。
-----------------------	---	-------	---

⑤ 今後の方向性 (ACTION: 改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
見直し/改善	大学進学のための奨学金は継続する。また、市の奨学金以外にも県や日本学生支援機構などの奨学金の周知を行い、修学の機会の確保に努める。	令和4年度

自己点検評価シート(令和3年度実施事業)

① 基本情報

事業番号	事務事業名	ICT環境整備事業	事業種別	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
13	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	1 生きる力を持ち、未来を拓く子どもの育成	担当課(係)	学校教育課(学校教育係)
		推進プログラム	7 未来を切り拓く力の育成		

② 事業概要 (PLAN: 計画設計)

事業の目的・内容	児童生徒の情報活用能力の向上を図るために、学校のICT環境の整備や保守維持管理、支援員による授業のサポート等、教職員がICT教育を推進していくための支援を行う。
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	①ICT機器の整備や保守維持管理を行う。(ハード面での支援) ②【小学校】ICT支援員によるサポート等を行う。(ソフト面での支援)

③ 実施結果 (DO: 推進)

	名称	単位	R3実績
事業実績・成果(指標)	ICT支援員(報酬・期末手当・旅費)	千円	2,132
	需用費	千円	451
	委託料・使用量及び賃貸料	千円	43,753
事業費	46,334 千円(R3決算)		
事業の実施内容	学校でのICT教育上必要となるICT関係機器(パソコン・タブレットPC・サーバー等)やネットワーク機器の管理・運用保守・更新等。		

④ 事業の評価 (CHECK: 点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	A	評価理由等	ICT機器の保守更新の対応、ICT支援員によるサポート、教職員を対象としたソフトウェア講習会など、ICT教育推進のための支援を行った。
-----------------------	---	-------	---

⑤ 今後の方向性 (ACTION: 改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
拡大	教職員のICT機器の活用には、機器の使用に關してのサポートや環境の改善が必要である。回線速度の改善は令和4年1学期中、ICT支援員の1名増員を4月に予定。	令和4年4月

① 基本情報

事業番号	事務事業名	デジタル教科書更新事業	事業種別	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
14	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	1 生きる力を持ち、未来を拓く子どもの育成	担当課(係)	学校教育課(学校教育係)
		推進プログラム	7 未来を切り拓く力の育成		

② 事業概要 (PLAN: 計画設計)

事業の目的・内容	指導者用デジタル教科書を導入・活用することにより、教職員による効果的な授業の推進とともに、抽象的な思考が難しい段階にある児童生徒への負担を軽減する。
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	活用実績を調査・確認しデジタル教科書のライセンス更新や要望があった教科の新規導入を行う。

③ 実施結果 (DO: 推進)

	名称	単位	R3実績
事業実績・成果(指標)	【小学校】消耗品費	千円	2,468
	【中学校】消耗品費	千円	1,836
事業費	4,304 千円(R3決算)		
事業の実施内容	小・中学校からの導入要望を確認し、新規の指導者用デジタル教科書を導入した。また以前に購入したデジタル教科書のライセンス更新を行った。		

④ 事業の評価 (CHECK: 点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	A	評価理由等	小・中学校での授業での効果的な活用について実績を確認。次年度に向けての要望の調査を行った。
-----------------------	---	-------	---

⑤ 今後の方向性 (ACTION: 改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
現状維持	デジタル教科書導入による授業内容の変化に対応すべく、継続して小・中学校での活用状況と実績等を調査し要望を踏まえ、更新および新規の導入に備えて予算の確保に努める。	随時

自己点検評価シート(令和3年度実施事業)

① 基本情報

事業番号	事務事業名	中学校夜間学級就学援助支給事業	事業種別	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
15	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	3 「知・徳・体」の育成と多様な役割を担う学校教育の推進	担当課(係)	学校教育課(学校教育係)
		推進プログラム	10 個別の教育的ニーズに応じた教育の推進		

② 事業概要 (PLAN: 計画設計)

事業の目的・内容	吉野川市内に住所を有し夜間中学に通う生徒のうち、経済的理由により、就学困難と認められる生徒または生徒の保護者に対して、教材費など学習に係る費用を支給することにより、就学に支障をきたすことなく意欲的に学業に専念できるよう支援し、将来的に自立を促す。
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	夜間中学校(県立しらさぎ中学校)と連携して、生徒及び生徒の保護者に対して資料を送付する等周知を行い、援助費を支給する人数の目標を1人とする。

③ 実施結果 (DO: 推進)

	名称	単位	R3実績
事業実績・成果(指標)	中学校夜間学級就学援助受給者	人	1
事業費	25 千円(R3決算)		
事業の実施内容	県立しらさぎ中学校に通う1名の生徒に学用品費、通学用品費を支給した。		

④ 事業の評価 (CHECK: 点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	A	評価理由等	県立しらさぎ中学校と連携して就学援助について周知を行い、1名の生徒に就学援助費を支給することができた。
-----------------------	---	-------	---

⑤ 今後の方向性 (ACTION: 改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
現状維持	夜間中学校(県立しらさぎ中学校)と連携して、生徒及び生徒の保護者に対して資料を送付する等周知を行い、就学に支障をきたすことなく意欲的に学業に専念できるよう支援する。	令和4年4月(制度周知)

① 基本情報

事業番号	事務事業名	青少年育成補導センター業務	事業種別	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
16	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	2 家庭と地域の教育力再生	担当課(係)	生涯学習課(人権社会教育係)
		推進プログラム	12 子どもたちが健やかに育つ地域教育の充実		

② 事業概要 (PLAN: 計画設計)

事業の目的・内容	青少年の非行防止及び環境浄化等について適切な措置を講じ、心身共に健全な青少年の育成を図る。
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	関係機関との連絡体制を強化し、青少年の健全な成長を推進する。

③ 実施結果 (DO: 推進)

	名称	単位	R3実績
事業実績・成果(指標)	定期街頭補導	回	毎日
	教育相談	件	63
事業費	1,519 千円(R3決算)		
事業の実施内容	街頭補導に加え、警察や学校から情報提供のあった不審者情報に対し、児童・青少年の安全確保のため見回り活動を行った。		

④ 事業の評価 (CHECK: 点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	B	評価理由等	補導件数は1件のみだったが、不審者情報が多く寄せられており、学校や警察と情報連携して児童の登下校に合わせて見回りの活動を行った。
-----------------------	---	-------	--

⑤ 今後の方向性 (ACTION: 改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
見直し/改善	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により研修等を中止としたが、オンラインでの研修等柔軟に実施の方向を検討する必要がある。	令和4年度

自己点検評価シート(令和3年度実施事業)

① 基本情報

事業番号	事務事業名		人権教育推進事業	事業種別	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
17	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	3 生涯を通して学べる環境づくり	担当課(係)	生涯学習課(人権社会教育係)
		推進プログラム	12 子どもたちが健やかに育つ地域教育の充実		

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	人権教育及び子ども会活動を通じ、人権意識向上と人権問題解決に資する学力の充実を図る。
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	小・中学校及び教育集会所での人権学習会の支援

③ 実施結果(DO:推進)

	名称	単位	R3実績
事業実績・成果(指標)	人権学習会実施	箇所	8
	人権作文集「なかま」の発行	部	3,200
事業費	2,583 千円(R3決算)		
事業の実施内容	小・中学校から人権についての作文等を募集し、作文集にして全生徒へ配布した。教育集会所等で人権学習会を開催し、人権学習を推進した。		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	A	評価理由等	人権作文集「なかま」では、児童が実際に身の回りで起こった人権問題について感じたこと等を発表することで、児童の人権意識の向上に寄与している。人権学習会では、人権問題に向き合うために必要な学力の向上や意識等の醸成を図ることが出来た。
-----------------------	---	-------	--

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
現状維持	引き続き、人権学習の支援を図る。	令和4年度

① 基本情報

事業番号	事務事業名		成人式開催事業	事業種別	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
18	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	1 生きる力を持ち、未来を拓く子どもの育成	担当課(係)	生涯学習課(人権社会教育係)
		推進プログラム	7 豊かな人間性の基礎となる心の育成		

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	新成人が成人として社会的責任を自覚し、これまでに育ててくれた人々や社会に感謝するとともに、市民が新成人を祝い励ます場として行う。
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	出席者が安心して参加できるよう新型コロナウイルス感染症の感染予防策を徹底して開催する。

③ 実施結果(DO:推進)

	名称	単位	R3実績
事業実績・成果(指標)	参加人数	人	R3:237人、R4:300人
	※対象者 令和3年:378人、令和4年:359人		
事業費	1,911 千円(R3決算)		
事業の実施内容	令和3年・令和4年成人式は予約制とし、参加者全員にPCR検査を行うなど新型コロナウイルス感染症対策を施した上で開催した。		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	A	評価理由等	令和3年成人式は1年延期となったことで出席率が例年よりも減少したが、予約手続き等従来の方法とは違った当日までの流れにも大きなトラブルはなく、新成人の門出を祝うことができた。
-----------------------	---	-------	--

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
現状維持	引き続き、効率的な式典の運営に努める。	令和5年1月

自己点検評価シート(令和3年度実施事業)

① 基本情報

事業番号	事務事業名		公民館活動推進事業	事業種別	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
19	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	3 生涯を通して学べる環境づくり	担当課(係)	生涯学習課(人権社会教育係)
		推進プログラム	13 人権教育と生涯学習環境の充実		

② 事業概要 (PLAN: 計画設計)

事業の目的・内容	地域住民にとって身近な学習拠点として、また交流の拠点とする。
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	感染症予防策を施し、感染状況が変化しても地域の交流活動が停滞しないよう工夫した運営を展開する。

③ 実施結果 (DO: 推進)

	名称	単位	R3実績
事業実績・成果(指標)	公民館利用者数	人	83,258
	生涯学習講座開催数(主催分)	回	345
事業費	2,074 千円(R3決算)		
事業の実施内容	市民のニーズを取り入れた講座や伝統芸能の講座など、新たな講座の企画を行い、利用者の生涯学習を推進した。		

④ 事業の評価 (CHECK: 点検・評価)

総合評価 (A: 高、B: 中、C: 低)	B	評価理由等	令和2年度と比較して延利用者が1万人以上回復し、コロナ禍においても交流活動が継続されている。
--------------------------	---	-------	--

⑤ 今後の方向性 (ACTION: 改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
見直し/改善	若い世代の利用を促進するため、講座内容を工夫する。	令和4年度

① 基本情報

事業番号	事務事業名		文化施設管理事業	事業種別	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
20	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	5 心に豊かさをもたらす文化の保護と振興	担当課(係)	生涯学習課(文化振興係)
		推進プログラム	17 芸術文化の振興と郷土文化の継承		

② 事業概要 (PLAN: 計画設計)

事業の目的・内容	指定管理者制度にとらわれず、文化施設の経費削減と施設運営面のサービス向上により利用者の利便性の向上を図る。指定期間は、文化研修センター:R3.4.1~R8.3.31、アメニティセンター:H31.4.1~R4.3.31、美郷ほたる館:R2.4.1~R7.3.31となっている。
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	経費削減のため、アメニティセンターを市直営化して、隣接する山川公民館を統合運営することとし、事務所を統合することで人員を総数8人から5人に削減し、経費の削減を図る。

③ 実施結果 (DO: 推進)

	名称	単位	R3実績
事業実績・成果(指標)	文化研修センター利用者	人	61,049
	アメニティセンター利用者	人	8,474
	美郷ほたる館利用者	人	5,333
事業費	40,176 千円(R3決算)		
事業の実施内容	指定管理者による施設の管理運営を実施。 アメニティセンターはR4年度からの統合運営に向け、券売機を導入した。		

④ 事業の評価 (CHECK: 点検・評価)

総合評価 (A: 高、B: 中、C: 低)	B	評価理由等	コロナ禍ではあるが、文化研修センターは企画展を実施するなど積極的に事業に取り組んだ結果、利用者はR2年度と比べ大幅に増加した。他の施設は微増にとどまった。アメニティセンターは文化ホールのため、これまでのような行事の実施が困難である。また、鴨島公民館と重複しているため在り方を検討する必要がある。
--------------------------	---	-------	---

⑤ 今後の方向性 (ACTION: 改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
見直し/改善	築年数の経過により修繕が増えていることから重複した機能を持つ施設の統廃合を見据え、また、コロナ禍により行事の実施が困難であることから、経費を抑えつつ管理運営に努める。	令和4年度

自己点検評価シート(令和3年度実施事業)

① 基本情報

事業番号	事務事業名		文化財保護管理事業	事業種別	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
21	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	5 心に豊かさをもたらす文化の保護と振興	担当課(係)	生涯学習課(文化振興係)
		推進プログラム	17 芸術文化の振興と郷土文化の継承		

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	市内の文化財の保護・管理及び伝統芸能(無形指定文化財)の伝承を支援し、文化財を活用して文化観光の推進を図る。潜在化し埋もれた保護すべき未指定文化財の指定を推進し、文化財の保護と活用を行い、文化観光の推進を図る。
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	本市の歴史の証であり、市民の財産である文化財を後世に伝えていくために、保護・保存・活用を行い、市民の誇りと郷土愛の醸成を図る。

③ 実施結果(DO:推進)

	名称	単位	R3実績
事業実績・成果(指標)	文化財新規指定件数(国県市指定文化財)	件	0
	県指定「江川の湧水水温異常現象」周辺清掃活動参加者11回実施	人	1,191
	国指定「船窪オンツツジ群落」整備活動参加者3回実施	人	120
	山川町内市指定古墳・史跡清掃活動参加者5回実施	人	98
	藍のふるさと阿波 古文書巡回展 吉野川市会場入場者	人	235
事業費	3,085 千円(R3決算)		
事業の実施内容	<small>国指定天然記念物船窪オンツツジ群落の保護管理計画に基づく保護・管理、国指定天然記念物「美郷のネル」美郷内開発に係る文化庁への申請窓口指定文化財周辺の草刈り、剪定、修繕、現況調査、整理、案内・説明看板の設置・修繕、巨大樹木の危険枝伐採(県指定「壇のクス」樹勢回復事業)、伝統芸能伝承団体への活動支援、藍屋敷の調査、未指定文化財の調査、日本遺産「藍のふるさと阿波」案内説明看板の設置、構成文化財の調査と追加世界遺産認定に向けた「四国遍路」構成文化財の調査研究、文化観光の推進</small>		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	A	評価理由等	文化財は、自然や歴史教育・観光資源として、市民はもとより、県民、国民の財産である。文化財保護法の趣旨に沿い、本市の歴史の証である文化財を後世に伝えていくため、保存・活用を行い、市民の誇りと郷土愛の醸成が図れている。
-----------------------	---	-------	---

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
拡大	文化財を後世に伝えていくために、最低限の費用で保存・活用を行っており、見直しを行うと、数百年間維持してきた文化財の保護が困難となる。文化財の保護・管理を行うのは本事業のみであり、廃止・休止となった場合、適切な保護・管理ができなくなり、本市の歴史の証が失われることになる。未指定文化財の調査に取り組み、保護・保存すべき文化財の新規指定に取り組む。	令和4年度

① 基本情報

事業番号	事務事業名		文化芸術振興事業	事業種別	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
22	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	5 心に豊かさをもたらす文化の保護と振興	担当課(係)	生涯学習課(文化振興係)
		推進プログラム	17 芸術文化の振興と郷土文化の継承		

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	文化関係団体の活動を支援するとともに育成を図る。文化芸術振興活動、国際交流事業に対する補助金交付及び活動に対する支援を行う。
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	補助金により各団体の活動を支援することで、文化芸術の振興を図る。

③ 実施結果(DO:推進)

	名称	単位	R3実績
事業実績・成果(指標)	吉野川市芸術祭 総合美術展、芸能祭、合同茶会・いけばな展 来場者数	人	888
	講演会(ふるさと講演会・文化講演会) 来場者数	人	426
	県展選抜展 来場者数	人	900
	日本語教室開催回数(鴨島35回、山川32回)(鴨島26名、山川11名)	回	67
	国際交流協会:交流事業参加者数(5回実施)	人	91
事業費	1,290 千円(R3決算)		
事業の実施内容	文化芸術振興活動、国際交流事業に対する補助金交付及び活動に対する支援を行った。		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	A	評価理由等	各団体の活動により、本来市が直営で実施しなければならない文化芸術の振興に繋がる活動が活発に行われ、最小限の経費で最大の効果を上げることができており、補助金以上の活動を行うことができた。
-----------------------	---	-------	--

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
現状維持	各団体の活動により、本来市が直営で実施しなければならない文化芸術の振興に繋がる活動が活発に行われ、最小限の経費で最大の効果を上げることができており、補助金以上の活動を行っていることから、現状のまま維持する。	令和4年度

自己点検評価シート(令和3年度実施事業)

① 基本情報

事業番号	事務事業名	全国大会参加者派遣補助事業	事業種別	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
23	第2次吉野川市教育振興計画	教育目標	4 生涯を通してスポーツに親しめる環境づくり	担当課(係)	生涯学習課(社会体育係)
		推進プログラム	16 市民を主体とする生涯スポーツ環境の充実		

② 事業概要 (PLAN: 計画設計)

事業の目的・内容	全国大会へ出場する者及び保護者の負担を軽減することでスポーツ及び文化の振興を図る。 個人の場合 10,000円 団体の場合 上限10万円(10人までは1人につき10,000円)
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	全国大会出場者の増加に対応できるよう財政課と協議をしながら事業推進を行う。

③ 実施結果 (DO: 推進)

	名称	単位	R3実績
事業実績・成果(指標)	補助件数	件	13
	事業費		150 千円(R3決算)
事業の実施内容	関係者等に制度の概要について説明を行い補助金を交付。		

④ 事業の評価 (CHECK: 点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	A	評価理由等	予定どおりに事務執行し、具体的な成果が表れている。
-----------------------	---	-------	---------------------------

⑤ 今後の方向性 (ACTION: 改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
現状維持	新型コロナの影響により大会等の開催状況も変動傾向にあるが、出場者が増加すれば予算不足となるため、財政課と協議しながら即時対応していく。	令和4年度

① 基本情報

事業番号	事務事業名	徳島駅伝吉野川市選手団運営委員会	事業種別	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
24	第2次吉野川市教育振興計画	教育目標	4 生涯を通してスポーツに親しめる環境づくり	担当課(係)	生涯学習課(社会体育係)
		推進プログラム	16 市民を主体とする生涯スポーツ環境の充実		

② 事業概要 (PLAN: 計画設計)

事業の目的・内容	選手及び指導者の育成を行い、吉野川市の代表として徳島駅伝に出場し、地域の活性化を図る。 合同練習会・合宿等の強化を行い、1月3日～6日の徳島駅伝に出場する。
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	学生選手の育成と強化を図り、チーム力を向上させ上位入賞を目指す。

③ 実施結果 (DO: 推進)

	名称	単位	R3実績
事業実績・成果(指標)	総合順位	位	10
	事業費		3,200 千円(R3決算)
事業の実施内容	新型コロナ感染対策を講じながら、選手の育成と強化練習に取り組み徳島駅伝に出場した。		

④ 事業の評価 (CHECK: 点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	B	評価理由等	概ね順調に事務執行し、成果が表れている。
-----------------------	---	-------	----------------------

⑤ 今後の方向性 (ACTION: 改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
見直し/改善	選手団については、中学生・高校生の選手層が薄いため、各学校と連携し育成・強化を図る。またコロナ対策を講じながら練習環境を確保できるよう工夫が必要である。	令和4年7月～ 令和5年1月

自己点検評価シート(令和3年度実施事業)

① 基本情報

事業番号	事務事業名	スポーツ団体活動支援・人材育成事業	事業種別	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
25	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	4 生涯を通してスポーツに親しめる環境づくり	担当課(係)	生涯学習課(社会体育係)
		推進プログラム	16 市民を主体とする生涯スポーツ環境の充実		

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	スポーツ団体の活動を支援するとともに競技者及び指導者の育成、また、市民の健康増進を推進し、市民相互の交流を図ることを目的とする。 市民体育祭・各種スポーツ大会の開催支援・スポーツ少年団活動補助・スポーツ推進委員設置
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	市民がスポーツに触れる環境づくりに努め、競技力向上と健康増進を図る。

③ 実施結果(DO:推進)

	名称	単位	R3実績
事業実績・成果(指標)	スポーツ協会加盟団体数	団体	19
	市スポーツ推進委員数	人	25
事業費	5,093 千円(R3決算)		
事業の実施内容	新型コロナウイルス感染対策を講じながら活動できる範囲で事業の推進を図った。		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	B	評価理由等	概ね順調に事務執行し、成果が表れている。
-----------------------	----------	-------	----------------------

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
見直し/改善	多様なスポーツ団体の活動を支援することで、市民が年齢や体力に応じたスポーツに関わることができるよう環境づくりの推進に努める。	令和4年度

① 基本情報

事業番号	事務事業名	体育施設の管理・運営事業	事業種別	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
26	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	4 生涯を通してスポーツに親しめる環境づくり	担当課(係)	生涯学習課(社会体育係)
		推進プログラム	16 市民を主体とする生涯スポーツ環境の充実		

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	市民の運動活動の場所を提供し、スポーツの振興を図る。 体育施設の使用許可・管理及び維持修繕を行う。
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	市民が快適に利用できるよう施設の整備を行い、スポーツに親しむ環境づくりを進めていく。

③ 実施結果(DO:推進)

	名称	単位	R3実績
事業実績・成果(指標)	利用件数	件	3,996
事業費	44,311 千円(R3決算)		
事業の実施内容	定期的に施設を巡回し、老朽化している施設の修繕を行い維持管理に努める。 利用者からの意見を参考に利用方法の改善を図る。		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	B	評価理由等	概ね順調に事務執行し、成果が表れている。
-----------------------	----------	-------	----------------------

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
見直し/改善	市民が身近にスポーツを親しむことができるよう施設を整備し、快適なスポーツ環境を提供する。また施設改修も優先順位をつけ災害時など避難所に該当する施設から計画的に進めていく。	令和4年度

自己点検評価シート(令和3年度実施事業)

① 基本情報

事業番号	事務事業名	吉野川市民プラザ等指定管理業務	事業種別	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
27	第2次吉野川市教育振興計画	教育目標	4 生涯を通してスポーツに親しめる環境づくり	担当課(係)	生涯学習課(社会体育係)
		推進プログラム	16 市民を主体とする生涯スポーツ環境の充実		

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	まちなかの賑わい創出を図るとともに、文化・芸術交流の充実強化やコミュニティ形成の促進、市民の健康増進とスポーツ振興に寄与することを目的とする。施設の維持管理・運営に関する業務。
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	新型コロナウイルス感染対策を講じながら、市民プラザの良好な維持管理と運営に取り組む。PR活動も行い利用者数の増加を図る。

③ 実施結果(DO:推進)

	名称	単位	R3実績
事業実績・成果(指標)	市民プラザ利用者数	人	205,339
事業費	166,100 千円(R3決算)		
事業の実施内容	新型コロナウイルスの影響により利用制限等もあるなか、感染対策を講じ安心して利用できるよう管理者と連携して維持管理と運営業務に努めた。		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価(A:高、B:中、C:低)	B	評価理由等	概ね順調に事務執行し、成果が表れている。
-------------------	----------	-------	----------------------

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
見直し/改善	市内中心市街地活性化のため地域の交流拠点としてのPR活動を積極的に行い市民プラザの利用者数と満足度の向上を図る。指定管理業務内容の再検討が必要。	令和4年度

① 基本情報

事業番号	事務事業名	インターハイ開催事業	事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 継続	
28	第2次吉野川市教育振興計画	教育目標	4 生涯を通してスポーツに親しめる環境づくり	担当課(係)	全国高校総体推進室(全国高校総体推進係)
		推進プログラム	16 市民を主体とする生涯スポーツ環境の充実		

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	令和4年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)の開催に向け、準備を進めるために必要な負担を行う。
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	

③ 実施結果(DO:推進)

	名称	単位	R3実績
事業実績・成果(指標)	令和4年度全国高等学校総合体育大会吉野川市実行委員会負担金	円	1,700
事業費	1,700 千円(R3決算)		
事業の実施内容	令和4年度全国高等学校総合体育大会吉野川市実行委員会の設立及びその活動のための負担金の支出。		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価(A:高、B:中、C:低)	A	評価理由等	令和4年度全国高等学校総合体育大会吉野川市実行委員会が設立され、大会開催に向けての準備が動き出した。
-------------------	----------	-------	--

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
現状維持	本市を幹事市として開催される、令和4年度全国高等学校総合体育大会バドミントン競技大会の運営が円滑に行えるよう、準備を整える。	大会終了まで

自己点検評価シート(令和3年度実施事業)

① 基本情報

事業番号	事務事業名	学校給食センター事業	事業種別	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
29	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	1 生きる力を持ち、未来を拓く子どもの育成	担当課(係)	学校給食センター
		推進プログラム	6 心身ともに健やかでたくましく生きる力の育成		

② 事業概要 (PLAN: 計画設計)

事業の目的・内容	児童生徒に栄養バランスのとれた給食の提供並びに食育の推進
前年度課題を踏まえた目標 (新規除く)	児童生徒に栄養バランスのとれた給食を提供する。魅力ある食育を推進するために、学校、家庭と連携・協力し、子どもの健全な食生活の実現と豊かな人間形成を図るよう努める。食育コーディネーターである栄養教諭を中心に、食育に関する指導の推進及び啓発活動に努めるとともに、学校給食が生きた教材として活用されるよう、また、学校給食における地産地消を推進する。

③ 実施結果 (DO: 推進)

	名称	単位	R3実績
事業実績・成果 (指標)	残食率	%	12.7
事業費	275,015 千円 (R3決算)		
事業の実施内容	児童生徒に栄養バランスのとれた給食の提供を行った。 栄養教諭を中心に小・中学生を対象に食育の授業を行い、また、各小・中学校に食育に関する掲示物の配付や各家庭には令和3年12月まで毎月の給食だより、年2回のもぐもぐ通信を配付した。		

④ 事業の評価 (CHECK: 点検・評価)

総合評価 (A: 高、B: 中、C: 低)	A	評価理由等	児童生徒に栄養バランスのとれた給食の提供を行っている。 食育については、児童生徒を対象に食育の授業を行い、また、各小・中学校に掲示物の配付や各家庭に給食だよりやもぐもぐ通信を配付するなど食に関する指導および啓発活動を行っている。
-----------------------	---	-------	---

⑤ 今後の方向性 (ACTION: 改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
改善	今後も、児童生徒に栄養バランスのとれた給食を提供するとともに、アンケートを実施して、児童生徒の希望を把握しつつ、今まで以上に満足する給食を提供することに努める。	令和4年度